

## 大友敏明教授の略歴および業績

1954年1月4日生

### 略 歴

#### 学 歴

- 1972年3月 北海道立札幌東高等学校卒業
- 1973年4月 早稲田大学教育学部社会科社会科学専修入学
- 1977年3月 同上卒業
- 1978年4月 慶應義塾大学大学院経済学研究科理論経済学専攻前期博士課程入学
- 1980年3月 同上修了
- 1980年4月 慶應義塾大学大学院経済学研究科経済学専攻後期博士課程入学
- 1986年3月 同上単位取得退学

#### 学 位

- 1980年3月 経済学修士（慶應義塾大学）
- 2002年6月 博士（経済学・慶應義塾大学）

#### 職 歴

- 1986年4月 上武大学商学部非常勤講師（1987年3月まで）
- 1987年4月 市立大月短期大学経済科専任講師
- 1990年4月 市立大月短期大学経済科助教授（1995年3月まで）
- 1995年4月 山梨大学教育学部助教授
- 1998年4月 山梨大学教育人間科学部助教授
- 2002年3月 山梨大学教育人間科学部教授（2008年3月まで）
- 2004年4月 山梨大学附属図書館長（2007年3月まで）
- 2008年4月 立教大学経済学部教授
- 2012年4月 ケンブリッジ大学経済学部客員研究員（2013年3月まで）
- 2017年4月 立教大学経済研究所長（2019年3月まで）
- 2019年3月 立教大学定年退職

この間、都留文科大学、法政大学、専修大学、東京都立大学、山梨大学、獨協大学、慶應義塾大学の非常勤講師（兼任講師）を依頼される。

#### 所属学会

経済学史学会、経済理論学会、信用理論研究学会、金融学会（現在は退会）、The European Society for the History of Economic Thought

#### 研究業績

##### 単 著

1. 『信用理論史』慶應義塾大学出版会，2001年11月

##### 共編著・共著

1. 『現代の金融 理論と実状』飯田裕康編，有斐閣，1992年9月，「第1章 信用創造と再生産」を分担執筆
2. 『現代金融危機の構造』飯田裕康編，慶應義塾大学出版会，2000年4月，「第3章 資産インフレーションと自己金融 支配構造の変化と高株価経営の破綻」を分担執筆
3. 『経済思想にみる貨幣と金融』池田幸弘・佐藤有史と共編，三嶺書房，2002年3月，「第1章 重商主義の信用創造論争」を分担執筆
4. *Ricardo on Money and Finance: A bicentenary reappraisal*, Yuji Sato, Susumu Takenaga (eds.), Routledge, 2013, Chap. 7, “Ricardo’s theory of central banking : the monetary system and the government”

##### 論 文

1. 「資本の流過程と貨幣の還流運動 手稿「資本主義的再生産における貨幣の還流運動」を中心として」『三田学会雑誌』第76巻第1号，1983年4月
2. 「マルクス「経済表」の構造と意義」『三田学会雑誌』第77巻第3号，1984年8月
3. 「アダム・スミスにおける二つの経済循環 再生産と通貨・信用構造」『三田学会雑誌』第78巻第5号，1985年12月
4. 「ステュアート『原理』における経済循環の把握について」『三田学会雑誌』第80巻第3号，1987年8月
5. 「『国富論』体系における「生産と消費の均衡」」『三田学会雑誌』第83巻第4号，1991年1月

6. 「信用創造論の動向」『金融経済研究』第2号, 1992年1月
7. 「管理通貨制度とバブル経済」『証券経済』第182号, 1992年12月
8. 「金融システムの不安定性の根拠について」『証券研究』第107巻, 1993年11月
9. 「中央銀行の「最後の貸し手機能」の本質と限度」『山梨大学教育学部研究報告』第46号, 1996年2月
10. 「金融システムの不安定と信用創造論争」『信用理論研究』第14号, 1996年5月
11. 「貨幣資本と現実資本の構造 川波洋一著『貨幣資本と現実資本』を読んで」『三田学会雑誌』第89巻第3号, 1996年10月
12. 「信用恐慌論の展開」『山梨大学教育学部研究報告』第47号, 1997年2月
13. 「ジェイムズ・ステュアート研究の現段階」『経済学史学会年報』第35号, 1997年11月
14. 「流通手段の前貸と資本の前貸 古典派信用論の分解 (上)」『山梨大学教育人間科学部研究報告』第49号, 1999年2月
15. 「流通手段の前貸と資本の前貸 古典派信用論の分解 (下)」『山梨大学教育人間科学部紀要』第1巻第1号, 1999年12月
16. 「リカードウ貨幣論の構造」『山梨大学教育人間科学部紀要』第1巻第2号, 2000年3月
17. 「リカードウ通貨調整案の検討」『山梨大学教育人間科学部紀要』第2巻第1号, 2000年12月
18. 「投機と信用 1825年恐慌とフリーバンキング学派」『山梨大学教育人間科学部紀要』第7巻第2号, 2006年3月
19. 「反通貨管理の思想 J. W. ギルバートと T. トウック」『立教経済学研究』第62巻第4号, 2009年3月
20. 「Monied Capital の蓄積について トーマス・トウックと匿名氏の『通貨理論論評』」『経済学史研究』第51巻第1号, 2009年7月
21. 「J. ステュアートにおける象徴貨幣と国家」『立教経済学研究』第65巻第2号, 2011年10月

#### 翻 訳

1. イシュトヴァン・ホント, マイケル・イグナティエフ編著『富と徳 スコットランド啓蒙における経済学の形成』水田洋・杉山忠平監訳, 未来社, 1990年12月, 「第11章 スコットランド古典経済学における「富国 = 貧国」論争」, 分担訳

#### 書 評

1. 田添京二『サー・ジェイムズ・ステュアートの経済学』1990年。『図書新聞』, 1990年4月7日

2. 大森郁夫編『市場と貨幣の経済思想』1989年。『経済学史学会年報』第28号, 1990年11月
3. 守山昭男『銀行組織の理論』1994年。『金融経済研究』第9号, 1995年7月
4. 小池田富男『貨幣と市場の経済思想史 イギリス近代経済思想の研究』2009年。『経済学史研究』第52巻第1号, 2010年7月
5. 楊枝嗣朗『歴史の中の貨幣 貨幣とは何か』2012年。『季刊経済理論』第50巻第4号, 2014年1月
6. 大谷禎之介『マルクスの利子生み資本論』2016年。『大原社会問題研究所雑誌』第703号, 2017年5月

#### 辞典項目

1. 「カルペパー (the elder)」, 「カルペパー (the younger)」, 「信用創造論」, 「マンリー」, 『経済思想史辞典』丸善, 2000年6月

#### 学会等報告

1. 「マルクス「経済表」の構造と意義」, 経済学史学会第48回大会, 東北大学, 1984年11月
2. 「ステュアート『原理』における経済循環の把握について」, 経済学史学会第51回大会, 関西大学, 1987年11月
3. 「信用創造と再生産」, 経済理論学会第38回大会, 神奈川大学, 1990年10月
4. 「信用創造論の動向」, 信用理論研究会関東部会, 慶應義塾大学, 1991年9月
5. 「信用恐慌論の再検討」, 経済理論学会第42回大会, 立命館大学, 1994年10月
6. 「金融システムの不安定と信用創造論争」, 信用理論研究会, 慶應義塾大学, 1995年5月
7. 「重商主義の信用創造論争」, 経済学史学会第60回大会, 中央大学, 1996年11月
8. 「信用創造論の現代的課題 吉田暁著『決済システムと銀行・中央銀行』を読む」, 信用理論研究会関東部会, 慶應義塾大学, 2002年7月
9. 「銀行信用論の新しい展開 松本久雄氏の新著の検討」, 信用理論研究会関東部会, 慶應義塾大学, 2003年7月
10. “Ideas on the Anti Management of Currency: J. W. Gilbert and T. Tooke,” International Conference: Paper Money in Theory and Practice in History, Columbia University, New York, April 2009
11. “The Accumulation of Monied Capital: Thomas Tooke and An Anonymous Author’s *The Currency Theory Reviewed*,” The 14th Annual Conference of the European Society for the History of Economic Thought (ESHET), University of

- Amsterdam, Amsterdam, March 2010
12. “Ricardo’s Theory of Central Banking,” The 15th Annual Conference of the European Society for the History of Economic Thought (ESHET), Boğaziçi University, Istanbul, May 2011
  13. “Ricardo’s Theory of Central Banking: Monetary System and the Government,” The 44th Annual UK History of Economic Thought Conference, Keele University, Stoke on Trent, September 2012
  14. “Henry Thornton on the Independence of the Central Bank,” The 18th Annual Conference of the European Society for the History of Economic Thought (ESHET), University of Lausanne, Lausanne, May 2014
  15. 「ヘンリー・ソートンとイングランド銀行の独立性」, ケインズ学会第7回大会, 中央大学, 2017年12月